

養護教諭としての効果的なエンカウンター活用例

2005.4.9(土)

たけまき

1. 保健室での活用

養護教諭と子どものリレーションづくりのために

子どもの不安を軽減し、養護教諭と子どもとの間に構えない一体感や思いを自由に表現できるリレーションをつくる。子どもが自分の思いを自由に表現する。

- ・肩もみエンカウンター
- ・手もみエンカウンター
- ・自己紹介カード
- ・二人のハートはピッタンコ??
- ・共同絵画
- ・サイコロトーキング

子どもが自分の問題に向き合うために

子どもが自分自身の内面と向き合い、自らの考え方や行動のクセに気づく。養護教諭とともに整理し、具体的な視点をもつ。

- ・ここに来たわけなあに?
- ・未来へのハッピーパスポート
- ・ハッピー度グラフ
- ・調子は何点?

課題を乗り越えるための練習のために・子ども同士の関係づくりのために

具体的な方法を練習し、課題を乗り越える体験を通して自信を持つ。保健室にいる数人の子と一緒に行動などして子ども同士のふれあいを促す。

- ・「気になる私」見方を変える
- ・共同絵画
- ・心配なことチェック
- ・怒りのコントロール

2. 教育相談での活用

子どもたちからのSOSサインを見逃さず、その1つ1つに丁寧に対応していくことで不登校やいじめなどの深刻な問題への発展を防ぐ。SGEを活用することで・・・

子どもが悩みを相談しやすくするための教師とのリレーションをつくる。
いじめや不登校を出さない、学級の子ども同士のリレーションをつくる。
子どもたちの自己肯定感やコミュニケーション能力を育てる

<例> 面接でのSGEの活用(別紙)

3. 健康教育・ライフスキル教育での活用

保健学習の最終的な目標は、健康を通して自分自身の行き方を考えることである。SGEを活用することで・・・

子ども自らが考え活動する授業となる。
子どもの参加意欲が高まる。
「気づき」や「体感」を重視したふれあい体験活動を取り入れられる。
本音の自分を出せる自己開示の場を設定できる。
といった効果を得ることができる。

<例> 参考文献として・・・

「エンカウンターでイキイキわくわく保健学習・小学校」酒井緑著、図書文化

【参考】

「構成的グループエンカウンター事典」國分康孝・國分久子編、図書文化 2004

「ワークシートによる教室復帰エクササイズ」河村茂雄編、図書文化 2002